

資料 V

社会福祉法人 花の会 沿革

- 1982年10月 「花の会賛助会」設立（現「花の会後援会」）
- 1983年11月 福祉作業所「花の会」（氷室町1丁目）開設（「作業所・花の会」に改名）
- 1984年 4月 「花の会保護舎会」設立（現「花の会家族会」）
- 1992年 4月 福祉作業所「ワークランド花の会」（芥川町2丁目）開設（現「ワークたんぼぼ」）
4月 OBのサークルとして「O花会」設立（現「友花会」）
- 1994年 4月 福祉作業所「花ぼっぼ」（松が丘1丁目）開設
- 1995年 4月 福祉作業所「らいぶりい花の会」（芥川町2丁目）開設
- 1996年 7月 宿泊訓練施設「フラワーホーム」（安満西の町）開設
- 1997年 4月 「フラワーホーム」（定員4名）をグループホームとして開設
- 1998年 3月 「社会福祉法人花の会」（理事長 濱田信雄）設立
4月 福祉作業所「ワークたんぼぼ」（浦堂）開設
8月 福祉作業所「作業所・花の会」「ワークランド花の会」「花ぼっぼ」「らいぶりい花の会」を開所
9月 通所授産施設「共働舎花の会」（南平台3丁目・定員50名）開設
「ワークたんぼぼ」移転（芥川町2丁目へ）
- 1999年 4月 グループホーム「ぼばい」（定員4名、府営高槻宮が谷住宅）開設
福祉作業所「チューリップ」（芥川町2丁目）開所
- 2000年 3月 法人新理事長（白石朝子）就任
4月 グループホーム「オリーブ」（定員4名、塚原3丁目）開設
10月 花の会地域生活支援センター「スキップ」開設 障害児（者）地域療育等支援事業を受託）
- 2001年 4月 知的障害者通所授産施設分場「すずらん」（定員11名、大字原）開設
同 グループホーム「ブルート」（定員4名、府営高槻柱本住宅）開設
同 知的児者短期入所事業「レスパイト」開設
6月 「高槻市障害者雇用支援準備センター」開設
- 2002年 3月 法人新理事長（長澤康夫）就任
4月 グループホーム「ほうれん荘」（定員4名、府営高槻下田部住宅）開設
7月 法人評議員定数2名増員（15名）。利用者の参加を図る。
7月 知的障害者通所授産施設（小規模）「希望の家」（定員12名、中川町）開設
9月 ホームヘルパー2級養成講座開講（2003年3月終了）
- 2003年 7月 グループホーム「さくら」（定員4名、桜ヶ丘北町）開設（建物購入）
11月 「希望の家」若松町に移転
11月 「花の会」20周年の集い開催（22日）
- 2005年 4月 グループホーム「あまかわ」（定員4名、府営高槻天川住宅）開設
同 高槻市障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）受託

- 2006年 4月 国事業として「障害者就業・生活支援センター」を受託
 同 相談支援センターを高槻市城北町に開設
 9月 グループホーム「おりひめ」（定員5名、府営高槻天川住宅）開設
 10月 障害者自立支援法によりケアホーム「フラワーホーム」（定員37名）にホーム再編
 同 共働舎花の会の短期入所事業は短期入所・日中一時支援に再編
 11月 宗教法人神仙霊導教より施設建設用地等を購入
- 2007年 4月 福祉作業所「ワークたんぼぼ」「チューリップ」「スイートピー」事業所「たんぼぼ亭」の運営について、「花の会」より移管
 10月 障害福祉サービス（多機能型）「第3共働舎花の会」（高槻市城北町）を、従たる事業所「希望の家」（若松町）及び「障害者自立フォーラム」（明野町）として開設。（「希望の家」は事業移行）
- 2008年 3月 障害福祉サービス（多機能型）「第2共働舎花の会」（高槻市南平台）に開所
 「共働舎花の会」の従たる事業所「こすもす」を芥川町二丁目に開所（定員9名）
 5月 宗教法人神仙霊道教様より、土地・建物の寄贈を受ける。
 7月 ケアホーム「ヒマワリ」（城東町）、「なでしこ」（塚原三丁目）に開設
- 2009年 1月 「サポートセンター はいびすかす」を第2共働舎花の会内に設置
 2月 「ワークたんぼぼ」（芥川町2丁目）を「第3共働舎花の会」従たる事業所として追加し、就労継続支援B型の事業とする。
 3月 「知的障害者移動支援従業者養成研修」を開始（はいびすかす）
 12月 ケアホーム「ひこぼし」（天川町）に開設。ケアホーム「ぼばい」を登町（府営下田部住宅）に移転。
- 2010年 2月 事業組み換えのため（多機能型）「共働舎花の会」より、（就労移行）「こすもす」を廃止。（多機能型）「第2共働舎花の会」より、就労継続支援の出張所「チューリップ」「スイートピー」及び（就労移行）「たんぼぼ亭」を廃止。
 3月 障害福祉サービス（生活介護）「第4共働舎花の会」（チューリップ・スイートピー・たんぼぼ亭・こすもす）を開設。（定員25名）
 4月 障害福祉サービス（就労移行支援）「就労支援センターフォルツァ」（城北町）を開設（定員20名）。
- 2011年 2月 ケアホーム「ひなげし」（真上町4丁目）に開設。
 3月 「第3共働舎花の会」の従たる事業所「障害者自立フォーラム」を廃止（他の事業所として独立）
 7月 サポートセンターはいびすかす及び相談支援センタースキップの事務所移転（城北町）
 9月 ケアホーム「つくし」（城東町）、「くるみ」（芝生町）を開設
 10～11月 入所施設からの地域生活への移行を支援（3名）
- 2012年 3月 就労支援センターフォルツァに自立訓練（生活訓練）定員12名を事業追加
 3月 法人新理事長（山田義昭）就任
 7月 第3共働舎花の会（ワークたんぼぼ）の定数変更（16名）
- 2013年 1月 ケアホーム「すばる」（芝生町）に開設（定員4名）。
 4月 児童発達支援・放課後等デイサービス「あじさいクラブ」（郡家新町）に開設。（定員20名）
 10月 第2共働舎花の会の店舗、就労継続支援B型「すみれ」（津之江町）を開設（定員10名）。
 11月 花の会30周年の集いを開催。法人設立15周年。（23日）
 12月 ケアホーム「おりひめ」芝生町に移転。

- 2014年 2月 ケアホーム「おりおん」（天川町、旧おりひめ）に開設（定員4名）。
 4月 「相談支援センター あじさい」をあじさいクラブに開設
 制度変更によりケアホームが廃止となりグループホーム（共同生活援助）となる
 12月 GH「すばる」定員を4名から7名に。
- 2015年 2月 グループホーム「かえで」（西大冠町）に開設（定員5名）。
 3月 児発・放デイ「さくらクラブ」（大冠町三丁目）に開設（定員10名）。「あじさいクラブ」の定員を10名に変更。
 3月 第2共働舎花の会、生活介護43名から53名に定員変更。「すみれ」を従たる事業所、生活介護6名に事業変更。
- 2016年 1月 生活介護「ラベンダー」（大冠町、定員10名）を「さくらクラブ」に併設。
 2月 グループホーム「べがさす」（芝生町、定員5名）、「じゅびたー」（天川町、定員3名）を開設。「すばる」から移籍2名、全体で5名が増加し、88名に。
 9月 高槻市障がい者就業・生活支援センター、相談支援センタースキップ、サポートセンターはいびすかすの事務所を移転（高槻町へ）
- 2017年 3月 グループホーム「ぼん、ぽこ」（宮田町）に開設（定員7名×2棟）、短期入所「エール」「ジョイフル」、福祉避難所を併設、相談支援センターあじさいを施設内に移転、緊急避難スペース開設。
- 2018年 3月 北大樋グループホームの建設、津之江北GHの改装により、既存の府営住宅でのGHが移転することとなった。北大樋：4ホーム（ブルート、おりひめ、ヒマワリ、おりおん、計20名）。津之江北町：1ホーム（ぼばい 5名）。
- 2018年 4月 「すみれ」「ラベンダー」が、第4共働舎花の会の従たる事業となる。
 8月 「こすもす」の改装工事により新店舗が開設する。
- 2019年 4月 春日町グループホームが完成し、府営住宅よりほうれん荘・すばる2ホームが移転する。
 4月 三島地域若者サポートステーション事業を受託する。
- 2020年 3月 第3共働舎花の会（就労移行）を廃止。
 4月 相談支援センターあじさいを休所する。
 4月 枚方市津田東町所在の「市立くすの木園」を市より運営受託し、生活介護「ひらかた くすの木」（定員36名）を開設。
- 2021年 1月 生活介護「はなみずき」（南平台三丁目）を開設。（定員30名）
 高槻市萩谷月見台に農業用地の寄付を青木敬司様より受ける。
 3月 生活介護第4共働舎花の会「すみれ」を廃止。
 4月 グループホーム「でいじー」「ひなげし」（大和一丁目）を開設。（定員各5名）
 5月 相談支援センターあじさいを相談支援センタースキップの従たる事業所として指定。
 5月 高槻市牧田町、富田団地に子育て支援の拠点をNPO法人ティピー様より、引き継ぐ。
 10月 富田団地にて子育て支援タイムとして子ども食堂を開設する。
 10月 あさがおクラブが事業所指定を受け、あじさいクラブの従たる事業所から独立。
- 2022年 1月 生活介護「ひらかたくすの木」を新築移転。（定員36名）
 11月 月見台農地（月見台5番）の整備が完了する。

- 2023年 4月 高槻市障がい者就業・生活支援センターにて、庁内実習事業を受託する。
- 2023年 6月 グループホーム「オリーブ」を塚原三丁目から奈佐原四丁目に移転
- 2024年 6月 グループホーム「カシオペア」「つばき」「かとれあ」「短期入所エンジョイ」（梶原四丁目）を開設。
(定員各4名・短期入所1名)



グループホーム(梶原四丁目)